コンセントバー20A/30Aタイプ RD81 type 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
  - ⚠ 気をつけていただく内容です。
  - 🚫 してはいけない内容です。
  - ❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠警告

分解禁止 分解、改造をしないでください。感電・火災の原因になります。	増締めの際、必ず差込プラグを抜くなどして、電源が供給されていないことを確認してから作業してください。感電の原因になります。
定格電流、定格電圧を超えた条件下で施工しないでください。発熱・焼損・火災の原因になります。	端子ねじがゆるむ場合がありますので、定期的に必ず増締めを行ってください。発熱・焼損・火災の原因になります。
アースせよ 接地（アース）は確実に施工してください。破損・感電・火災の原因になります。	

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
端子ねじ M5	1.8～2.0
コード押え金具ねじ M3	0.6～0.8
端子カバーねじ M3	

⚠注意

異極間の絶縁抵抗試験を行わないでください。焼損の原因になります。	ねじなどは指定されたものを使用してください。取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。
ラックに固定して使用してください。破損・感電・火災の原因になります。	
機器の取付、配線の工程を必要とする電気機器の設置は、必ず電気工事の有資格者が行ってください。有資格者以外の方の取付は法律で禁止されています。	

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
本体取付ねじ M5×35	1.0～1.5

※但し、S タイトねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

■使用上のご注意

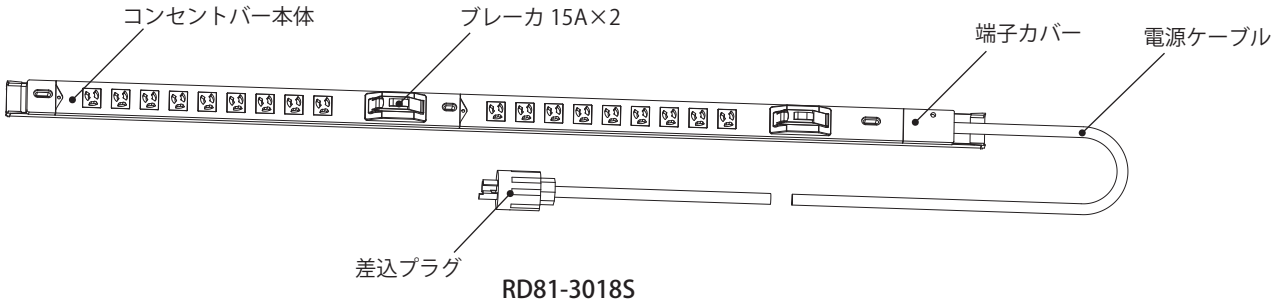
⚠警告

分解禁止 分解、改造をしないでください。感電・火災の原因になります。	20A タイプの場合、コンセント 1 口につき 15A 以下で使用し、合計 20A 以下で使用してください。30A タイプの場合、コンセント 1 口につき 15A 以下で使用し、製品に表示されている 1 エリア（1 系統）は合計 15A 以下、2 エリア（2 系統）で合計 30A 以下で使用してください。発熱して焼損や火災の原因になります。
ぬれ手禁止 被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でのプラグの抜差はしないでください。感電の原因になります。	
電源ケーブルを束ねての使用はお避けください。電源ケーブルが過熱して火災の原因になります。	周囲温度 40℃以下で使用してください。発熱して焼損や火災の原因になります。
通電中に電源接続部のカバーを開けないでください。感電・火災の原因になります。	

⚠注意

洗剤やトイレの液体洗剤、殺虫剤をかけないでください。発煙・発火の原因になります。	外部カバー、電源ケーブル、差込プラグ、コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。
ほこり、湿気の多い場所では、プラグを長時間差したままにしないでください。発煙・発火の原因になります。	電源ケーブルの固定、引張り、はさみ、無理な曲げ、ねじり、傷付け、加工、加熱、重いものを乗せるなどしないでください。電源ケーブルが断線し火災の原因になります。
刃の曲がったプラグを使用しないでください。発熱・火災の原因になります。	次のような場所で使用しないでください。故障・感電・火災などの原因になります。 ・高温、高湿となる場所　・腐食性ガスのある場所 ・可燃性ガスのある場所　・振動、衝撃のある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所　・水滴のかかる場所 ・ノイズ、電界、磁界の強い場所
左右の刃の大きさが違うプラグは使用しないでください。プラグが外れなくなる場合があります。	
二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり発熱して火災の原因になります。	
差込みが浅い状態で使用しないでください。感電・発熱して火災の原因になります。	定期的にプラグの表面や差込部の掃除をしてください。発煙・発火の原因になります。 プラグを抜く際は、必ずプラグを持ってまっすぐに引抜いてください。内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。
プラグの抜差しが極端に弱い状態で使用しないでください。発熱して火災の原因になります。	
電源ケーブルに熱いものを近づけたり、加熱しないでください。破損・感電・火災の原因となります。	本製品の設置環境は下記条件で使用してください。 ・周囲温度：-5℃～40℃ （但し、24時間の平均値が35℃を超えないものとする） ・周囲湿度：85%以下 （氷結や結露がないこと） ・標高2000m以下

■各部の名称



RD81-3018S

●付属品

品名	FS 取付用			AH 取付用			取扱説明書（本紙）
	S タイトねじ M5×35	ばね座金 5	丸座金 5	+3 点セムスなべ小ねじ M5×35（座金組込ねじ）	ナット	ナットサポート	
RD81-2012	2 コ	2 コ	2 コ	2 コ	2 コ	2 コ	1 部
RD81-3018S	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	
RD81-3024S	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	3 コ	

■仕様

【20A タイプ】

品名	定格電圧 V	定格電流 A		コンセント口数	コンセント仕様	電源ケーブル	差込プラグ	適用機種※
		コンセント 1 口	合計					
RD81-2012	AC125	15	20	12	2PE 付抜止めコンセント	VCT 3m（3.5mm²×3 心）	NEMA L5-20P	AHS、AHST、FSS、FSST、FSG、FSH-1H

ご注意　20A タイプはブレーカは付いていません。

【30A タイプ】

品名	定格電圧 V	定格電流 A		コンセント口数	コンセント仕様	電源ケーブル	差込プラグ	適用機種※
		コンセント 1 口	合計					
RD81-3018S	AC125	15	30	18	2PE 付抜止めコンセント	VCT 3m（5.5mm²×3 心）	NEMA L5-30P	AHS、AHST、FSS、FSST、FSG、FSH-1H
RD81-3024S				24				

※FS シリーズの詳細の取付機種につきましては次項の FS シリーズ背面側フレームへの取付表を参照ください。

■取付方法

【FS シリーズに取付】

フレームタテにコンセントバーを本体取付ねじ M5×35、
ばね座金 5、丸座金 5 にて固定してください。(図 1、2)

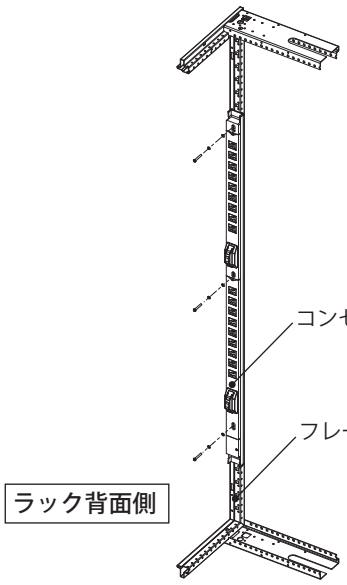


図 1 コンセントバー取付図(FS シリーズ)

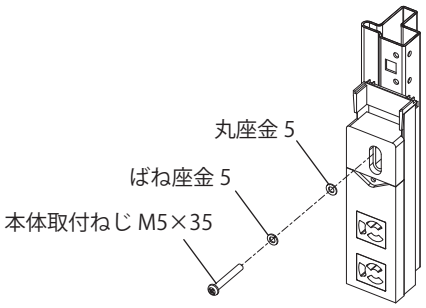


図 2 取付部拡大図(FS シリーズ)

FS シリーズ背面側フレームへの取付表

	RD81-2012	RD81-3018S	RD81-3024S
FSS□-□16	○	○	×
FSS□-□18	○	○	×
FSS□-□20	○	○	○
FSS□-□22	○	○	○
FSST□-□18	○	○	×
FSST□-□20	○	○	×
FSST□-□22	○	○	○
FSG□-720	○	○	△
FSG□-722	○	○	○
FSG□-818	○※	△	×
FSG□-820	○※	○※	△
FSH-1H	○	○	○

○: 取付可能
※: 背面フレーム片側のみ直接取付可能(図 3、4)
△: 別途取付金具が必要となりますのでお問合せください。
×: 取付不可

ガルテクト(FSG□-8□)取付上のご注意

下部より入線時は、背面左側のみ取付可能です。(図 3)
また、上部より入線時はその逆側取付となります。(図 4)

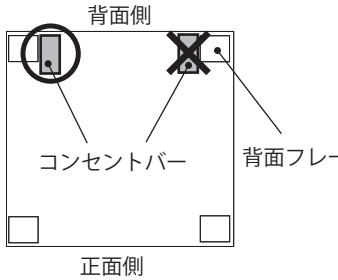


図 3 下部入線時(断面図)

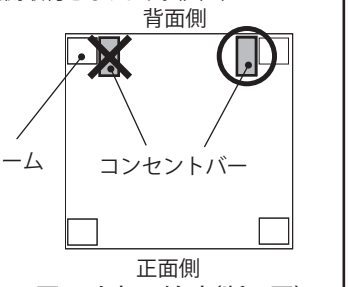


図 4 上部入線時(断面図)

【AH シリーズに取付】

1. フレームタテの取付溝にナットサポートおよびナットを
   取付けてください。(図 5、6、7)
2. フレームタテにコンセントバーを本体取付ねじ M5×35 にて
   固定してください。(図 8)

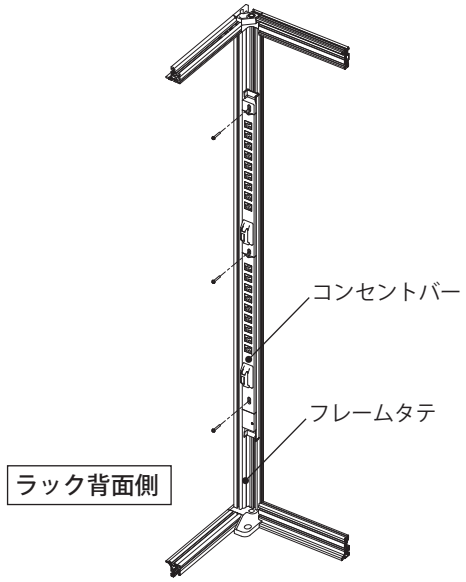


図 5 コンセントバー取付図(AH シリーズ)

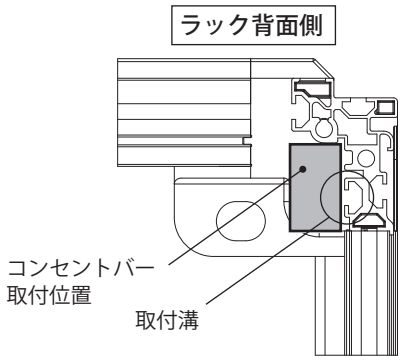


図 6 取付部断面図(AH シリーズ)

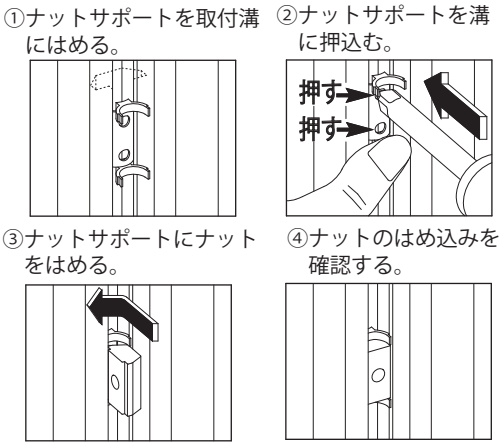


図 7 ナット、ナットサポート取付図

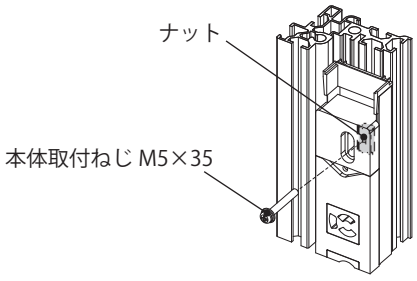


図 8 取付部拡大図(AH シリーズ)

⚠注意

取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

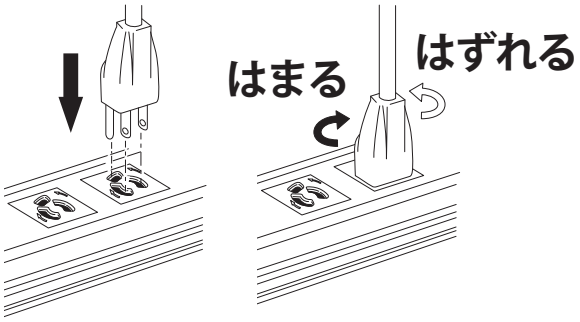
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
本体取付ねじ M5×35	1.0～1.5

※但し、S タイトねじにおいて締付時の初期トルクは
この限りではありません。

■使用方法

1. 使用時は、プラグを**「はずれる」**の位置から差込み、**「はまる」**の位置まで確実に回転させてください。

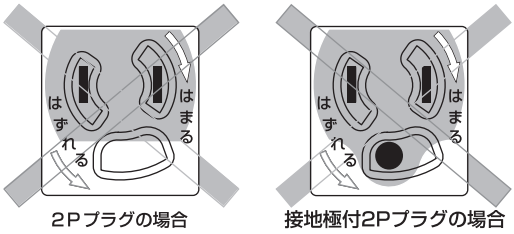
2. プラグを外す時は、**「はずれる」**の位置に回してから、まっすぐ上に引抜いてください。



ご注意

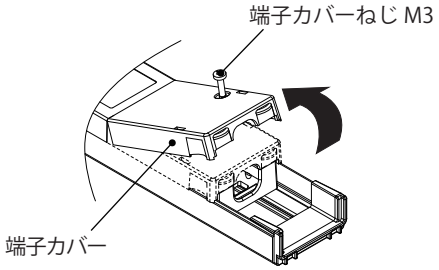
・右図の位置で差込プラグをコンセントに対し垂直に差込んでください。
絶対に斜めに差込まないでください。

・右図の位置で差込プラグは差込まないでください。
抜止構造が破壊するだけでなく導通不安定を発生させる原因になります。

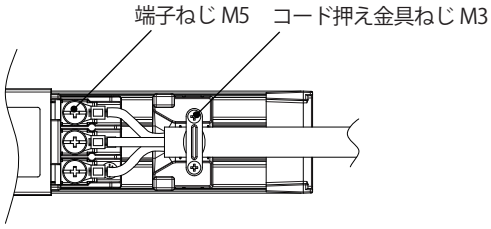


■端子部ねじ増締め方法

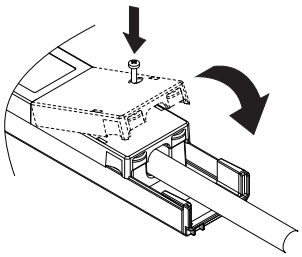
1. 端子カバーの端子カバーねじ M3 をゆるめて取外してください。



2. 端子ねじ M5 およびコード押え金具ねじ M3 を適正締付トルクにて締付けてください。



3. 端子カバーを取付けて、端子カバーねじ M3 にて固定してください。



⚠警告

増締めの際、必ず差込プラグを抜くなどして、電源が供給されていないことを確認してから作業してください。

端子ねじがゆるむ場合がありますので、定期的に必ず増締めを行ってください。発熱・焼損・火災の原因になります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
端子ねじ M5	1.8～2.0
コード押え金具ねじ M3	0.6～0.8
端子カバーねじ M3	

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2013年11月現在のものです。

C418223920

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp